

1. 件名：高速炉安全研究に用いる SIMMER-III コードの利用に係る面談

2. 日時：令和3年4月14日(水) 13:30～14:30

3. 場所：オンライン

4. 出席者：

原子力規制庁長官官房技術基盤グループ

システム安全研究部門

石津主任技術研究調査官、藤田(哲)技術研究調査官、

園田技術研究調査官、井上技術研究調査官

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 : 3名

5. 要旨：

原子力規制庁では、安全研究に利用するために国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「原子力機構」という。）から炉心事故解析コード SIMMER-III を借用している。借用にあたっては、SIMMER コードの使用方法・適用範囲等の妥当性を確認することを目的として、同コードを使用した安全研究の計画及び成果に関する技術情報を共有することとしており、令和2年度安全研究事業の概要、及び令和3年度事業計画案に関する技術情報を共有した。

また、原子力規制庁より SIMMER-III コード改訂版及び SIMMER-IV コードの提供を依頼したところ、原子力機構開発担当者より承諾の旨の回答があった。炉心膨張過程解析を行うために必要なデータ処理プログラムについても、原子力機構開発担当部署としては提供可能であることを確認した。